

スイッチを手動でリブートまたはリセットする方法

目的

ネットワークデバイスのリブート機能は、設定の特定の変更が設定を完全に適用するためにリブートが必要な場合、またはデバイスが期待どおりに機能していない場合に便利です。ネットワークデバイスの設定は、デバイスの再起動後に反映されます。

リセット機能は、ネットワークデバイスの実行または現在の設定を削除し、元のデフォルト設定に戻すために使用します。デバイス全体を再設定する必要がある場合、またはパスワードを忘れ、Telnetやコマンドラインインターフェイス(CLI)を使用してコンソールにアクセスする場合など、回復できない場合は手動リセットを推奨します。

この記事では、スイッチを手動でリブートまたはリセットする方法について説明します。リセットにCLIを使用する場合は、[ここをクリックしてCLIバージョンにアクセスしてください](#)。

該当するデバイス | ファームウェアのバージョン

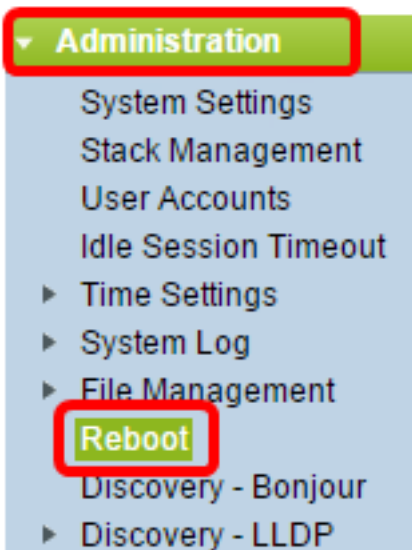
- Sx250シリーズ | 2.2.5.68 (最新の[ダウンロード](#))
- Sx300シリーズ | 1.4.7.05 (最新の[ダウンロード](#))
- Sx350シリーズ | 2.2.5.68 (最新の[ダウンロード](#))
- SG350Xシリーズ | 2.2.5.68 (最新の[ダウンロード](#))
- Sx550Xシリーズ | 2.2.5.68 (最新の[ダウンロード](#))

スイッチの手動リブート

重要：スイッチがリブートされると、実行コンフィギュレーションファイルが削除されます。リブート手順に進む前に、データの損失を避けるために、すべての実行コンフィギュレーション設定を必ず保存してください。リブートに関するサポートが必要な場合は、「[スイッチ上の設定ファイルのダウンロードまたはバックアップ](#)」を参照してください。

手順 1

スイッチのWebベースのユーティリティにログインし、[Administration] > [Reboot]を選択します。



手順 2

[Reboot]領域で、スイッチがリブートする時刻に対応するオプションボタンをクリックします。
次のオプションがあります。

- Immediate : リブートがクリックされると、スイッチはすぐにリブートします。

A screenshot of the 'Reboot' configuration page. The page title is 'Reboot'. Below the title, there is a text box that says 'To reboot the device, click the 'Reboot' button.' Underneath, there are three radio button options: 'Immediate', 'Date', and 'In'. The 'Immediate' option is selected, indicated by a red circle around the radio button. Below these options are two checkboxes: 'Restore to Factory Defaults' and 'Clear Startup Configuration File'. At the bottom of the page, there are three buttons: 'Reboot', 'Cancel Reboot', and 'Cancel'.

- 日付 : 設定された日時にスイッチがリブートします。スイッチをリブートする月と日付、およびその日の特定の時刻を選択します。

A screenshot of the 'Reboot' configuration page, showing the 'Date' option selected. The 'Date' radio button is selected, and the 'Date' field is highlighted with a red rectangular box. The 'Date' field shows 'Dec' for the month, '25' for the day, and '00' for the hour and '01' for the minute. The 'Time' field shows '00' for the hour and '01' for the minute. The 'In' option is not selected.

- In : 設定された時間が経過すると、スイッチがリブートします。スイッチがリブートを待機する日数と時間を選択します。その固定時間が経過すると、スイッチがリブートします。

Reboot: Immediate
 Date Dec 25 Time 00 01 HH:MM
 In 02 Days 10 Hours 15 Minutes

手順 3

(オプション) [工場出荷時のデフォルトに戻す(Restore to Factory Defaults)]チェックボックスをオンにして、スイッチを工場出荷時のデフォルト設定にリブートします。

Restore to Factory Defaults
 Clear Startup Configuration File

手順 4

(オプション) [スタートアップコンフィギュレーションファイルをクリアする(Clear Startup Configuration File)]チェックボックスをオンにして、再起動後にスイッチの設定をクリアします。

Restore to Factory Defaults
 Clear Startup Configuration File

手順 5

[Reboot]をクリックし、スイッチをリブートします。

注：この例では、[Immediate]が選択され、[Restore to Factory Defaults]がオンになっています。

Reboot

To reboot the device, click the 'Reboot' button.

Reboot: Immediate
 Date Dec 25 Time 00 01 HH:MM
 In 00 Days 00 Hours 00 Minutes

Restore to Factory Defaults
 Clear Startup Configuration File

注：工場出荷時の設定では、DHCP自動設定がデフォルトで有効になっています。スイッチを工場出荷時のデフォルトに正しくリブートするには、DHCP自動設定を無効にして、スイッチがローカルサーバから設定を自動的にダウンロードしないようにする必要があります。この機能の詳細については、[ここをクリックして手順を参照してください](#)。

これで、スイッチが正常にリブートされました。

スイッチの手動リセット

手順 1

スイッチからすべてのイーサネットケーブルを取り外します。

手順 2

ピンを使用して、スイッチのリセットボタンを15 ~ 20秒間押し続けます。



注：この例では、SG350X-24 24ポートギガビットスタックブルマネージドスイッチを使用しています。

手順 3

すべてのポートLEDが点灯したら、リセットボタンを放します。

手順 4

イーサネットケーブルを使用して、コンピュータをスイッチに直接接続します。

手順 5

コンピュータでWebブラウザを開き、アドレスバーにスイッチのIPアドレスを入力します。スイッチのデフォルトIPアドレスは192.168.1.254です。



注：正しく接続するには、コンピュータのIPアドレスがスイッチと同じサブネットにあることを確認します。この例では、コンピュータのIPアドレスは192.168.1.100で、サブネットマスクは255.255.255.0です。

Obtain an IP address automatically

Use the following IP address:

IP address: 192 . 168 . 1 . 100

Subnet mask: 255 . 255 . 255 . 0

Default gateway: . . .

手順 6

接続されると、スイッチはユーザ名とパスワードの入力を求めます。デフォルトのユーザ名とパスワードは次のとおりです。cisco/cisco.

注：ネットワークの保護を強化するために、新しいパスワードを設定する必要があります。

ステップ7

[古いパスワード]フィールドに「cisco」と入力します。

Change Password

Please change your password from the default settings for better protection of your network

The minimum requirements are as follows:

- Cannot be the same as the user name.
- Cannot be the same as the current password.
- Minimum length is 8.
- Minimum number of character classes is 3. Character classes are upper case, lower case, numeric, and special characters.

New Password Configuration

Old Password: [.....]

手順 8

[新しいパスワード]フィールドと[パスワードの確認]フィールドに新しいパスワードを入力します。

New Password Configuration

Old Password: [.....]

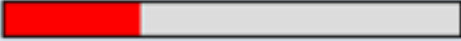
New Password: [.....]

Confirm Password: [.....]

Password Strength Meter: [Red bar] Below Minimum

手順 9

パスワードの強度の要件をバイパスするには、[パスワードの複雑さの強制を無効にする]チェックボックスをオンにします。

Password Strength Meter:  Below Minimum

Password Strength Enforcement: Disable

注：スイッチのPassword Strengthセキュリティ機能の設定方法については、[ここをクリックして手順を参照してください](#)。

手順 10

[Apply]をクリックし、設定を適用します。

Change Password

Please change your password from the default settings for better protection of your network

The minimum requirements are as follows:


- Cannot be the same as the user name.
- Cannot be the same as the current password.
- Minimum length is 8.
- Minimum number of character classes is 3. Character classes are upper case, lower case, numeric, and special characters.

New Password Configuration

Old Password:

New Password:

Confirm Password:

Password Strength Meter:  Below Minimum

Password Strength Enforcement: Disable

Apply

手順 11

下のポップアップメッセージでプロンプトが表示されたら、[OK]をクリックします。



Disabling password rules enforcement will increase your network security risk, because this disables all password rules, including minimum password complexity and password aging.
Are you sure you want to continue?

OK Cancel

ステップ 12

(オプション) [保存]をクリックして、スタートアップコンフィギュレーションファイルに設定を保存します。



これで、スイッチが手動でリセットされました。